ほくピーたより

北部病院 情報誌・第5号



院長からのごあいさつ



あけましておめでとうございます

本年も医療法人原武会を何卒宜しくお願い申し上げます。

「ほくピーたより」も今回の新年号で創刊1周年を迎えました。ちょうど一年前こちらで院長・理事長職の拝命報告をいたしました。「先代が築いた伝統を元に多職種の方々と連携しながら地域の保健・福祉・医療の発展のために努力したい」と申しましたが、未だ取り組みが不十分な点や行き届かない点もあるかと思い

ます。多くの方の意見を取り入れながら病院改革に取り組んでいますので、今後も皆様の御意見をお寄せください。

ご周知のように、新型コロナの影響はまだ続いています。当院における新型コロナ対策については、下記のように職員一丸となって様々な対策を行っております。入院・かかりつけ・新患の患者さまや「デイケアほくぶ」のご利用者さま、健診受診の方々が少しでも安心して当院を利用して頂けるように今後もしっかりと取り組んでいきます。

「人を支える」医療、介護を通してよりよい人生を送る手助けをする「人と人を繋ぐ」。多職種連携を通して最善、 最適なサービスを提供する、「人の心を動かす」など、患者さまや地域のためでなく、職員の心にも寄り添った事業 展開を行ってまいります。ソフト面の充実だけでなく、今後は病院施設の増改築も予定しており、ハード面でも「支え・繋ぎ・心を動かす」病院を目指していくことを新年の抱負にしたいと思います。



院長 渡邉 聖樹

当院での新型コロナウイルス対策

当院はみなさまが安心して受診できるように、以下のような感染防止対策に取り組んでいます。

- 職員の感染対策(マスク、手指衛生、検温、体調不良時の対応)
- 施設の衛生(アクリル板などの遮蔽物の利用、共用部分や共用物の消毒、換気)
- 外来受付にサーマルカメラを設置 (発熱者のチェック)
- 発熱、風邪症状の方の事前電話対応、受診時の動線分け、建物外での鼻腔抗原検査
- オンライン診療、電話再診
- タブレットを用いたリモート面会

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、今まで通院されていた方や生活様式の変化で不調を来した方が感染リスクを恐れ、受診控えや、先延ばしをされる方がおられます。これにより持病が悪化したり、病気の発見や予防が遅れ、皆様の健康に影響をきたすおそれがあります。ぜひお早目に受診ください。





医療法人社団 原武会 北部病院

〒861-5515 熊本市北区四方寄町 1281-3 TEL 096-245-1115 FAX 096-245-1126

発熱や風邪症状のある方へのお願い

以下の症状がひとつでもある方は、必ずお電話をされた上でのご来院をお願いします。

- 発熱
- せき
- のどの痛み
- 嘔叶・下痢

車内での待機、車で来院できない方は診察時間の調整を行なっております。 <u>また他症状での診察ご希望でも、上記症状がある方は同様の対応をいたします。</u> 感染拡大防止のため、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



当院リハビリテーション部での新型コロナ対策

リハビリテーション部 陣内 真樹

前述した当院での基本的対策に加え、感染の拡大に合わせて当院独自の 5 段階で計画を策定しています。

第1段階:全員マスク着用。リハ室入退出時手指消毒。

入院部門はリハ室内の在室人数制限。リハ前の検温、体調確認。

第2段階:外来部門と入院部門のリハビリ時間を区別。

外来患者さまは夜の街・会食を避けていただくなど同意の上、リハ開始。

第3段階: 入院部門は病棟内で実施 患者さまごとに職員を区別する。

第4段階: 入院部門は病室内のみで実施 患者さまごとに職員を区別する。

第5段階:リハビリ中止。



くその他>

- 各患者様のリハビリ後のマット、椅子など使用機器の消毒徹底。
- 換気の徹底。
- 呼吸・発声発語訓練などは自室にて窓を開けて換気の上、カーテンによる仕切り。
- 作業活動は机上にアクリル板を設置し、座る位置も対角線にする。
- リハでの作業道具も使用する度に消毒を徹底。

外来診療担当表がリニューアルしました

	月	火	水	木	金	土
午前	渡邉 聖樹渡邉 理香	渡邉 理香	渡邉 聖樹	渡邉 聖樹	渡邉 聖樹	中島 誠 (第 1·2·5 週) 渡邉 聖樹 (第 3 週) 桂 賢一 (第 4 週)
午後	16:00~18:00 渡邉 聖樹 13:30~16:00 渡邉 理香	渡邉 理香	渡邉 聖樹 ★(物忘れ認知症外来) 13:30~16:00 渡邉 理香	渡邉 聖樹 ★(パーキンソン病外来) 13:30~16:00 ※渡邉 理香	渡邉 聖樹	休 診

★印の特殊外来は要予約です。

※印 第3木曜日は渡邉理香医師 休診

